

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	大分市しらゆりハイツ
------	------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

平成30年2月14日・15日

③事業者情報

名 称： 大分市しらゆりハイツ	種 別： 母子生活支援施設
代表者氏名： 桜井敏男	定員（利用人数） 40世帯（38名）
所在地： 〒870-0815 大分市南春日町4-40	
TEL： 097-545-9502	

④総評

◇評価の高い点

- ・【中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。】

平成28年度事業所として中・長期的なビジョンを策定。内容は理念や基本方針の実現に向けたビジョンとなっている。

- ・【地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。】

退所され地域で暮らすひとり親家庭への支援に取り組んでいる。不登校児の訪問支援や片付けが困難な家庭への手伝い、学校との話し合いへの同席等アウトリーチを行い専門的な伴走支援に取り組んでいる。

- ・【定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。】

6月毎に母親も参加して自立支援計画の評価・見直しを行っている。変更に関する支援計画内容も母親と子どもの確認と同意を得て、自己肯定感を高めている内容に変化している。

・母親と子どもが安定した生活が継続できるよう、退所後の支援についてもメールでの相談体制を整備したり、個々のニーズに応えながら家庭訪問を実施したり、支援体制が施設として構築されている。

・施設が日常生活支援の生活の場として、母親の思い、子どもの思いをよく理解をして、支援を職員チームとして組織的に支援をしている。

◇改善を求められる点

- ・【経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。】

経営状況や改善すべき課題について、継続的に市担当課等との協議を望む。

- ・【必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。】

質の高い支援を実現するためには、必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針について担当課等との協議を希望する。

- ・【アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。】

支援困難ケースや複雑多様化する入所者へのアセスメント手法や自立支援計画作成について、母子支援施設協議会等で研究することを期待する。

- ・職員の質の更なる向上を図るために、職員の教育・研修について専門研修以外にも幅広い分野についても研修参加の機会が増すことを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回は、平成26年度に続き2回目の受審であったため、前回の受審結果と比較すると、a評価が18.6%から38.3%になり、全体的に課題の改善がなされているという評価をいただきました。全体の講評の中では、退所して地域で暮らすひとり親家庭への支援の取り組みについて優れていると評価していただき、今後も複雑化するニーズに対応できるよう更なる支援の質の向上に努めていきます。

また、施設の維持管理や職員の配置等の管理運営面においては、公立施設ゆえの難しさもありますが、評価結果を踏まえ、施設の運営の質の向上に努めていきます。

なお、利用者家族等アンケートについては、施設職員に言いづらい率直な意見等も期待できるため、結果を施設に還元できるような活用を望みます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）